

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	内田 雅文		
居室	西8-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>この授業は、コンピュータに慣れ使いこなす事を目的とします。          リテラシー(literacy)とは、読み書きの能力のことをいう。電子メール、インターネットや文書作成、数式処理、を Unix と X Window という環境で勉強する。また、コンピュータ利用の倫理的側面も併せて学ぶ。          情報処理センターでワークステーションを用いて、UNIX環境における実践的なコンピュータの利用法とコンピュータによるコミュニケーションの基本的方法を学ぶ。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし。

<b>【教科書等】</b>
<p>参考書：「キャンパス情報リテラシー」(昭晃堂) 千葉大学情報処理研究会編          「コンピュータリテラシ 情報環境の使い方」(昭晃堂) 東京工業大学全学情報科目実施委員会編</p>

【授業内容とその進め方】

UNIX オペレーティングシステムにおける、コマンドを理解し、電子メール、文書作成、グラフィックス、数式処理等の使い方を学習する。

課題では、いくつかの問題を解く。内容は以下の通り。

1. 端末の使い方、X-Windowの使い方
2. 電子メール
3. UNIX
4. WWW 入門
5. 文書作成 (Emacs + LaTeX)
6. グラフィックス (GNUPLOT)
7. 数式処理 (Maple入門)

授業の進め方は、2 クラスそれぞれの担当教官が、簡単な説明をしたあと、毎回提出される課題を行なう。

場所は、1 人 1 台の 端末のある情報処理センター演習室で行う。  
演習の結果をWWWまたは、newsにのせる。授業に出席すること、及び電子メール及び news をみて授業での連絡状況を把握することが必要である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

演習および試験の結果をつぎのように評価する。

成績評価 = ( 演習の評価点 × 80% + 期末試験の評価点 × 20%)

(b) 評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- (1) Emacsにより文書作成ができる。
- (2) 電子メールの処理方法を理解し、実行できる。
- (3) WWWを理解し、Webページの作成ができる。
- (4) LaTeXによる文書作成ができる。
- (5) 簡単なグラフ表示ができる。
- (6) 簡単な数式処理について理解できる。
- (7) コンピュータネットワーク利用上守るべき基本事項を理解している。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子掲示板を利用すること。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

<b>【学生へのメッセージ】</b>
コンピュータにより文書作成と情報処理の基本事項を習得してください。自主的・積極的な活動を尊重する。情報だけに頼って行動するのではなく、自分の力で理解することが望まれる。

<b>【その他】</b>